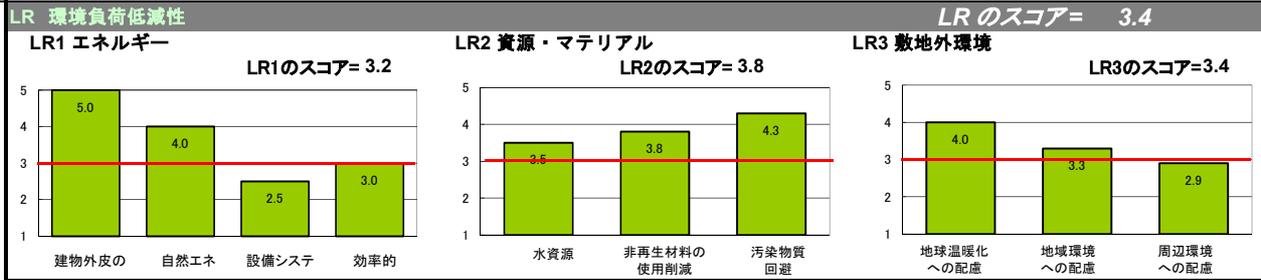
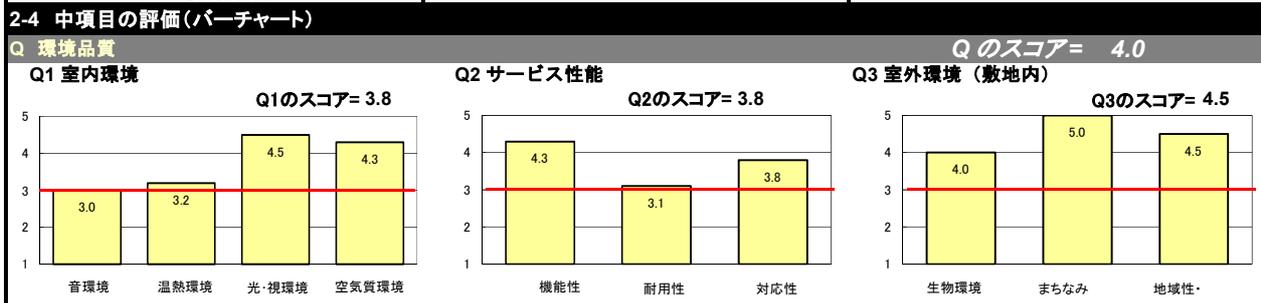
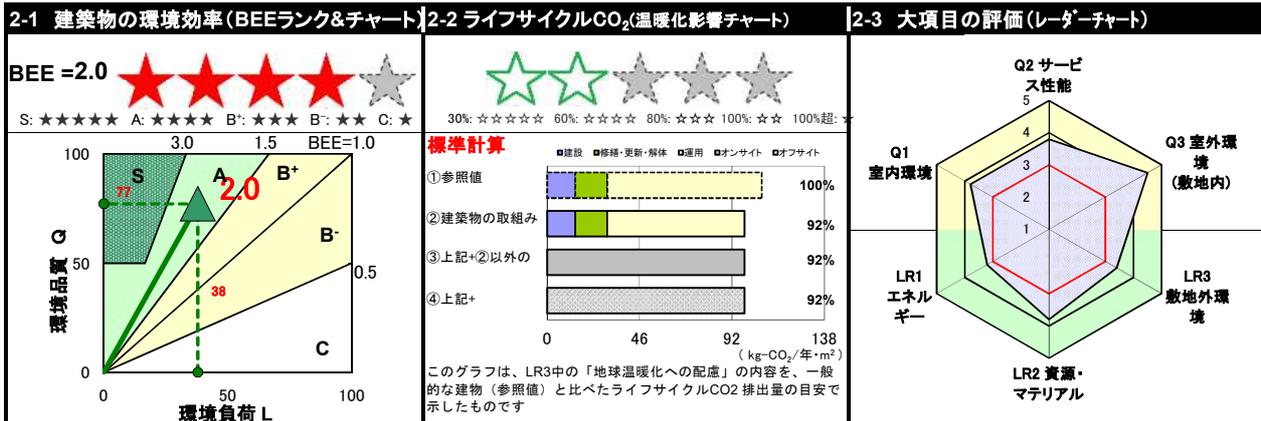


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	太陽ホールディングス株式会社 嵐山	階数	地上6階 塔屋1階
建設地	埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年10月5日
敷地面積	16,323 m <sup>2</sup>	作成者	吉池葉子
建築面積	2,589 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月7日
延床面積	10,400 m <sup>2</sup>	確認者	太田英和



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 積極的に自然エネルギーを取り込めるようハイサイドまで一体となった開口部を設置し豊かなオフィスエリアを創造するとともに実験室エリアは清掃・更新・維持管理が容易に行えるよう配慮した計画としている。雨水流出抑制施設の設定及び光害を低減する外装計画とすることにより敷地外環境へ配慮した計画としている。		計画初期からエンドユーザーとコンセプトの確認やワークショップを行い、快適性の高い計画としている。また地域との連携や自然環境との調和にも重きを置きながら外部の人を招く場所の設え・素材の選定や外構計画を進
<b>Q1 室内環境</b> 積極的に昼光利用・外気取り込みを行い快適な室内環境となるよう計画している。事業所全体を禁煙エリアとする取り組みやF☆☆☆☆の建材の使用、十分は換気量の確保といった点により従業員の健康に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 外周部を全て窓とすることにより開放的な執務空間となるよう計画している。実験室エリアは拭取清掃が可能な床材・壁面塗装を採用し、共用部はフロア毎にSKを設置し維持管理が容易に行えるよう配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 十分な緑の量を確保すると共に、周囲の環境に調和する外装材を採用することにより周辺環境へ配慮した建物となるよう計画とした。既存の緑地は極力残すことで、周辺の人々や従業員のための憩いの空間を確保してい
<b>LR1 エネルギー</b> 積極的に昼光利用・昼光制御を行い、高効率の設備を採用することによりエネルギー消費を抑えた建物となるよう計画した。Low-Eガラスや断熱材の採用により建物全体の熱負荷低減に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 雑排水の再利用やリサイクル材を採用することにより水資源・非再生性質資源の使用を低減し、汚染物質を含有しない材料を使用することで環境負荷を抑えた計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 全面道路交差点から距離を確保することで安全性と渋滞緩和に配慮した計画としている。土地利用状況を鑑み、周辺地域に光害を及ぼさない位置に計画建物を配置し、樹高が高くまとまった緑量のある既存緑地を保存・隣地への反射光の影響を更に軽減する計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 太陽ホールディングス株式会社 嵐山事業所 開発新棟

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>4.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.34		-		<b>3.8</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15		-		<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40		-		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.2</b>	0.35		-		<b>3.2</b>
2.1 室温制御				<b>3.5</b>	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能		室内への熱の侵入に対して十分な日射遮蔽性能・断熱性能を有している		5.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>4.5</b>	0.25		-		<b>4.5</b>
3.1 昼光利用				<b>4.6</b>	0.30		-		
1 昼光率		昼光率2.78%を確保		5.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備		ハイサイドライトによる昼光利用		4.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				<b>5.0</b>	0.30		-		
1 昼光制御		自動制御ブラインドによる昼光制御		5.0	1.00		-		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15		-		
3.4 照明制御		リモコンでの制御が可能		<b>5.0</b>	0.25		-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.3</b>	0.25		-		<b>4.3</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.50		-		
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用		5.0	1.00		-		
4.2 換気				<b>3.3</b>	0.30		-		
1 換気量		30m <sup>3</sup> /h以上を確保		4.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				<b>4.0</b>	0.20		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		事業所全体が禁煙スペースとして計画されている 旧喫煙所も現在は使用していない		5.0	0.50		-		
<b>Q2 サービス性能</b>					0.30		-		<b>3.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.3</b>	0.40		-		<b>4.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.6</b>	0.40		-		
1 広さ・収納性		執務スペース14.15m <sup>2</sup> を確保		5.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				<b>4.6</b>	0.30		-		
1 広さ感・景観		天井高さ2.8m、執務室外周に全て窓を設置		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース比率1.94%、自動販売機を設置		5.0	0.33		-		
3 内装計画		コンセプト・機能を明確にしバースにより照明や内装について事前検証を行っている		5.0	0.33		-		
1.3 維持管理				<b>5.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		1.防汚性の高いビニルクロスを採用している 2.床面は拭き取り清掃が容易な材料を採用している 3.床面はモップ清掃が可能な材料を採用している 4.幅木をR形状としてホコリが溜まりにくい計画としている 5.風除室は扉間の距離を確保している 6.維持管理方法が大きく異なる床材を使用していない 8.パラペットはうち勾配とし壁面が汚れない計画としている 10.外部に露出する金属部分にメッキを施す計画としている 11.スロープを設置し段差のない計画としている		5.0	0.50		-		

		2	維持管理用機能の確保	3.SKIに洗い場を設置している 4.モップ掛け・棚を設置している 5.廃棄物保管庫を建物内に計画している 6.フロア毎ごとにSKを設置している 7.30m以内に1箇所程度掃除用コンセントを設けている 8.外壁清掃用にメンテナンスパイプを設置している 9.概ね75lx以上を確保している 10.バルブ等の調整機器はPS内に設置している 11.600x600の点検口を設置している 12.建物外周部の主要設備配管ルートに沿ってメカニカルバルコニーを設置し、共用部での維持管理作業ができる計画としている	5.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>					<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>					<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>					<b>3.2</b>	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニル床シート:20年 ビニルクロス:20年 ボード類:30年	5.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		空調・給排水配管の主要な上位3種のうち、2種類を給水・排水とする	4.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>					<b>3.6</b>	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		節水型器具の採用、非常時の汚水の貯留施設を計画	5.0	0.20	-	-	
	3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		耐震クラスはAとする	4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	



	3	交通負荷抑制	II 1.敷地内に適切な量の駐車スペースを確保し路上駐車を生じさせてない計画としている II 2.建物に近接して管理用駐車スペースを確保 II 3.前面道路交差点から離れた位置に出入口を設置し渋滞緩和に配慮した計画としている II 4.通勤用と来訪者用の車両経路を分離する計画とし安全性と渋滞緩和に配慮した計画としている	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	敷地全体でごみの分別・リサイクルに取り組んでいる	5.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>2.9</b>	<b>0.33</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>				<b>2.3</b>	<b>0.40</b>	-	-	
	1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				<b>4.0</b>	<b>0.20</b>	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明は必要以上に広くしないように計画した。 リモコン回路になっており、深夜などには自動的な消灯が可能。	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	方位や隣地の土地利用状況を鑑み、周辺地域に光害を及ぼさない位置に計画建物を配置している 樹高が高くまとまった緑量のある既存緑地を保存し、隣地への反射光の影響を更に軽減する計画としている	4.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	太陽ホールディングス株式会社	BEE	2.0	BEEランク	★★★★
------	----------------	-----	-----	--------	------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	3.6	=	7.6	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	4.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	4.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄